

出産環境に対する妊婦と褥婦およびその夫のニーズ

key word 出産環境 分娩室 陣痛室 アメニティ
9階東 ○須賀己代子 大島久美 大越寛子 高江洲由嘉

はじめに

2015年の合計特殊出生率は1.46で、一人の女性が出産する件数は2人にも満たない。それ故に妊産婦の出産に対する思いや期待も大きく希望は多岐に渡る。

当院はハイリスク分娩が多数を占め、その対応のための設備を有している。ハイリスク分娩に対応するには設備を重視すると無機質な環境になりがちである。しかし、自分らしい分娩ができるようアットホームな環境を整えていく必要がある。自宅での出産やそれに近い環境での出産のニーズが高まっている昨今、妊産婦の求めるニーズを明らかにし、そのニーズに合わせた出産環境を検討していく必要がある。

用語の定義

妊婦：当院主催の出産準備クラスを受講した妊婦

褥婦：当院で出産した褥婦

出産環境：分娩室と陣痛室

I 目的

妊婦と褥婦およびその夫の出産環境に関するニーズを明らかにする。

II 方法

1. 調査対象

妊婦と褥婦およびその夫

2. 調査期間

平成29年1月～平成29年2月

3. 調査方法

質問紙調査

満足度に関してはt検定にて分析し、自由記載の項目に関してはカテゴリー分類した。

4. 調査内容

1) 当院を出産施設として選んだ理由

2) 分娩室・陣痛室の満足度(10段階)とその理由

3) 陣痛室でのプライバシーが守られたか(はい・いいえ)とその理由

4) リラックスして過ごせたか(はい・いいえ)とその理由

5) 分娩室・陣痛室に関する要望・意見

6) 分娩室・陣痛室での患者サービスやスタッフの対応に関する要望

III 倫理的配慮

東京医科大学医学研究倫理審査委員会にて承認(2016-127)を得た。研究対象者に事前に書面にて目的及び方法について説明し同意を得た。また、参加しない場合も不利益が生じないことを説明した。質問紙は匿名で実施し、データは研究終了後に破棄し、厳重に取り扱った。

IV 結果

1. 対象者の基本属性

質問紙配付数は褥婦とその夫33部、妊婦とその夫17部であった。回収数は褥婦24名(72.7%)、夫20名(66.7%)。妊婦8名(47.1%)、夫5名(29.4%)であった。褥婦のうち回答に不備のある1部を除いた23部を有効回答数とした。

妊婦・褥婦の年齢層は20～40代であり、30代が全体の68.8%を占めていた。初産産別では初産婦が26名(81.3%)であった。(表1)

2. 出産場所選択理由

「近所」が妊婦・褥婦合わせ16人(51.6%)、NICUなどの他科が併設された大学病院という「安心感」を求めて選択したという理由が妊婦・褥婦合わせ16人(51.6%)で同数であった。経産婦ではハイリスクに対応しているという理由が5人全員であった。(表2)

3. 分娩室満足度

20代妊婦の平均は8.5、30代妊婦の平均は8.3、20代褥婦の平均は8.9、30代褥婦の平均は7.5、夫の平均は7.8であった。全体平均は7.8であった。褥婦の20代と30代において有意差を認めた。その理由で30代ではハード面に関するマイナスの印象が多く挙げられていた。一方20代ではマイナスの理由はほとんど挙げられていなかった。

分娩室満足度8以上の評価は14名(58.3%)であった。初産産別では、経産婦2名(40.0%)、初産婦12名(66.7%)で初産婦の満足度が高かった。分娩室評価理由では全対象でハード面に関する項目が最も多かった。特に気にならなかった、違いが分からないという理由もあった。(図1)(表3)(表4)(表5)(表6)

4. 陣痛室満足度

20代妊婦の平均は8.5、30代妊婦の平均は

5.0、20代褥婦の平均は7.0、30代褥婦の平均は6.0、夫の平均は7.8であった。全体平均は6.8であった。初産婦の陣痛室満足度8以上の評価は6名(33.3%)であった。経産婦は陣痛室を使用しなかった人が半数以上であった。

(図2)(表7)(表8)

5. プライバシー保護とリラックスの評価

陣痛室のプライバシー保護については20代初産婦では全員が保護されていると回答していた。陣痛室を一人で使用できた人は7名(22.6%)であった。出産環境についてプライバシー保護が「いいえ」、リラックスできたかで「いいえ」と回答した理由としては、カーテン越しに音や声が聞こえて他の人の状況が伝わってくることや、自分の声等が聞こえてしまうため恥ずかしいということが挙げられていた。(表9)(表10)

V 考察

出産場所を決めた理由として「家から近い」ことや「大病院だから安心」ということが多かったことから、当院で出産される方はアメニティの充実よりも利便性や安心感を求めるニーズが高いといえる。

現在、当院の出産環境はカーテンで仕切られた3床のベッドがある陣痛室と分娩室2室である。分娩室より陣痛室の満足度が低かった理由としては、陣痛室が個室空間でないことが考えられる。陣痛室の満足度が高い人は偶然同室者がおらず一人で使ってきたという理由が多かったことから、出産環境が個室空間であることはプライバシー保護とリラックス空間を提供でき、満足度を高める要因であるといえる。分娩室満足度が高かった人の中には分娩がスムーズに進んだことや静かに過ごせたということが理由として挙げられていた。20代と30代の分娩室満足度において有意差を認めた理由の要因であるとも考えられる。これらのことより分娩進行がスムーズにいくことが出産環境だけでなく分娩そのものに対する満足度にも大きく影響を及ぼすということがいえる。一方、必死でありよく覚えていない、他を知らないため違いが分からないという声もあった。満足度が低い理由としては医療器具が見えて恐くなったことや空調音が気になる、室温の調整がうまくいかなかったことが挙げられていた。このことより、目に入る空間全てに配慮すべきあり、音や温度を含めた環境の調整が必要といえる。

夫の分娩室と陣痛室満足度評価は空間そのものに対する理由が最多であった。夫は分娩の痛みを直接感じているのではないため、冷静に出産環境そのものを客観的に捉えている傾向があるのではないかと推測される。

プライバシー保護について「いいえ」と回答した

理由では、他者の状況が分かってしまうことや他者への羞恥心が多かった。分娩時はその人の力を最大限に発揮できるような環境が提供されるべきであり、他者の状況を気にしながら過ごす空間は当然快適とは言えない。田島は「全ての母親は、おそらく死ぬまで毎年わが子の誕生日には、出産した日に見た風景や匂いや音や声を思い出し続けるのである。」¹⁾と述べている。

出産はゴールではなく育児を始めるスタートである。そのスタートを少しでも良いものに出来るようニーズを取り入れ、安心して出産に望める環境を提供していく必要がある。

VI 結論

1. 出産場所選択理由から利便性や安心を求めるニーズが高い。
2. 出産環境が個室であることは妊婦と褥婦およびその夫の満足度を高める。

引用・参考文献

- 1) 田島喜美恵. 院内助産所の建築計画. 医療福祉建築. 177, 14-17, 2012.
- 2) 中山茂樹. 出産環境のアメニティ. 助産雑誌. 64 (7), 576-581, 2010.
- 3) 中山茂樹. 出産環境のアメニティ. 助産雑誌. 64 (7), 576-581, 2010.
- 4) 上野恭子. 院内助産システムによる安全なお産環境の提供. 看護. 61 (9), 81-84, 2009.
- 5) 土屋邦子, 直井知子. 病院の最上階にある癒しの空間. 助産雑誌. 64 (7), 596-599, 2010.
- 6) 井本寛子, 杉本充弘. アメニティを重視した周産期棟づくり. 助産雑誌. 64 (7), 586-590, 2010.
- 7) 塚本絵美, 杉浦絹子. 出産場所選択要因に関する研究. 三重看護学誌. 43-53, 2006.
- 8) 菊池栄. 出産身体をめぐる<まなざし>の変遷. 21世紀社会デザイン研究. 6, 77-88, 2007.
- 9) ユニチャーム. “妊娠体験談・産院選び”. ユニチャーム公式ホームページ. (online), <<http://www.unicharm.co.jp/moony/index.html>>, (accessed2016/10/10).
- 10) 育ラボ. “失敗しない産院・産婦人科の選び方11のポイント”. (online), <<http://iku-labo.jp/premama/5612/>>, (accessed2016/10/10).

表1 対象の属性

年代	妊婦	褥 婦		夫	
	初産	初産	経産	出産前	出産後
20	2	6	1	1	2
30	6	12	4	3	14
40	0	0	0	1	2
50	0	0	0	0	2
	8	18	5	5	20

表2 出産場所選択理由

	妊婦・褥 (n=31)	夫 (n=20)
近い	16 (51.6%)	13 (65.0%)
設備が充実 NICUがある	16 (51.6%)	15 (75.0%)
他科受診歴あり	4 (12.9%)	2 (10.0%)
合併症あり	4 (12.9%)	2 (10.0%)
知人のすすめ	2 (6.5%)	1 (5.0%)
当院で不妊治療	1 (3.2%)	2 (10.0%)
知ってる医師がいる	1 (3.2%)	0
産科の入院歴あり、 対応が良かった	1 (3.2%)	4 (20%)
当院のスタッフである	0	1 (5.0%)

表3 分娩室評価理由 (褥婦)

カテゴリー	褥 婦 (初産)	褥 婦 (経産)
ハード面	清潔感あり	静かで良かった
	静かで良かった	夫の休憩場所がない
	分娩台がピンクで恐怖心がなかった	分娩室にトイレがない
	トイレが近くてよかった	空調の調整ができなかった
	音(金属音・空調)が気になった	病院っぽい
	寒かった	
備 品	色合い、医療器具を見ると怖い	血圧計が痛かった
プライバシー保護	プライバシーが守られている	
安 心 感		安心して出産できた
分娩進行	スムーズに進んだ	
そ の 他	過不足なし	過不足なし
	違い分からない 覚えていない	

表4 分娩室評価理由 (妊婦・夫)

カテゴリー	妊 婦	夫
ハード面	明るく広さがある	清潔感がある
	もう少し温かい雰囲気がいい	落ち着ける雰囲気
	いかにも手術室という感じ	きれい
		十分なスペースあり
		狭い
		古い
		電源の配線が悪い
		付添い人のスペースがなし
医療者のサポート		空調の音が気になった
		土足が気になった
		たくさん声かけ、サポート方法教えてくれた 立会いで写真をすぐ撮れた
そ の 他	想像通り	時間がかったが様々な人に協力頂いた 手際が良かった

表5 分娩室評価理由 (年代別)

カテゴリー	20代	30代
ハード面	体の変化が激しくて、部屋が暑かったり寒かったりした	夫の休憩場所が十分でない
	分娩台がピンク色で恐怖心が全くなかった	分娩室にもトイレがあるとよい
		寒かった
		金属音と空調音が気になった
		トイレが近くてよかった
		静かで落ち着いて過ごすことができた
分娩進行	スムーズに分娩室にいった	1人目のときにきれいな所だったので、病院ですってところが少し 静かな環境でよかった
プライバシー保護	清潔感もあり、プライバシーも守られている感じがした	
備 品		自動血圧計でうまく計れず、腕が少し痛かった
安 心 感		色合いや置いている医療器具を見ていると怖くなってしまふ雰囲気がある 安心して出産した
そ の 他	不安は何もありません	環境情報が入ってくる状態ではない
	何も覚えていない	他院との違いがわからない、一般的なものかと思う
	未記入	妊婦としては過不足なし
	自分の痛みなど以外特になにも気にすることなく利用することができた	必死でよく覚えていない
		緊急手術となり覚えていない
	他施設を知らないが特に不満はなし	
	普通	

表6 20歳代と30歳代 分娩室満足度

	変数1	変数2
平均	6.826086957	8.777777778
分散	4.513833992	1.444444444
観測数	23	9
仮説平均との差異	0	
自由度	26	
t	- 3.26761261	
P(T<=t) 片側	0.001522616	
t境界値 片側	1.705617901	
P(T<=t) 両側	0.003045231	
t境界値 両側	2.055529418	

表7 陣痛室評価理由（褥婦）

カテゴリー	褥婦（初産）	褥婦（経産）
ハード面	他の人が気になった	病室と同じ雰囲気良かった
	荷物置き場があれば良かった	隣に声が聞こえて恥ずかしかった
	他の人の声が聞こえ不安になった	
	狭かった	
	個室でなかった	
	叫んでしまった、他の人いたら迷惑と思う	
アメニティ	陣痛を和らげるグッズがあって良かった	
プライバシー保護	仕切られていて適度なスペースがあった	
	特に気にするところなし	
	ふつう	

表8 陣痛室評価理由（妊婦・夫）

カテゴリー	妊婦	夫
ハード面	カーテンの仕切りは同室者に気を使いそう	他の人がいなく個室として使えた
	狭い	狭い
	DVD見れるほうがいい	個室でない 隣が気になる
医療者のサポート		スタッフの印象が良かった こまめな声かけ
安心感		不安なく過ごせた
その他	想像通り 他を知らない	必死で良く覚えていない

表9 プライバシー保護評価理由（妊婦・褥婦）

ハード面	陣痛中はほかに人がいなかった
	ほかに人がいなかった
	他の方がいる場合は気になってしまう
	自分だけだったので、リラックスできた
	個室だとよい。カーテンだと音や隣の方のこえが聞こえてしまうため
	他の産婦さんが苦しんでいたため、本当は当事者一人につき1部屋だったらリラックスして出産に望めると思う
	病室の準備ができるまで分娩後陣痛室で待っていた。出産が終わった人が同じところにいる
	他の人が偶然いなかった
	他の人がいたら大変だと思う
	他の方の状況が伝わってくるのでプライバシーはあまり意識されなかった
	陣痛室を使用していたのが自分だけだったので、ゆっくり過ごせた
	リラックスしながら過ごせる環境だった
	自分の声が大きく少し恥ずかしかった
プライバシー保護	他の人の状態が聞こえたり、スタッフが走って陣痛室をとおり分娩室に入られることがあった
	カーテンで区切られていたし、使いやすく安心して過ごせた
	カーテンが開いたまま様々な方が通った カーテンを閉めるなど配慮があった
アメニティ	テニスボール・バランスボールを貸してもらって助かった
その他	痛くてそれどころでない
	痛みが強くなるとプライバシーどころでない

表 10 プライバシー保護評価理由（夫）

ハード面	他の方もいなかったため妻に声をかけたりしやすかった
	診察の時は私も退室したことで妻も変に気にかけることもなくよかったと思う
	周りに身内しかいない環境だったため
	隣の人の状況がよく分かる状況だった
	他の人がいなかった
	妻のみでした
	静かに過ごすことができたので
プライバシー保護	当日は一人だけでしたが複数の場合は難しいものと考えられます
	ほぼ私達二人のみだったので気にせず過ごせました
	同室なので隣が気になる
その他	しっかりと分けられていたので周りが気になりませんでした
	カーテンの仕切りだと目は気にならなくても会話はしにくいかもしれません
	立会いできていない
	利用していない

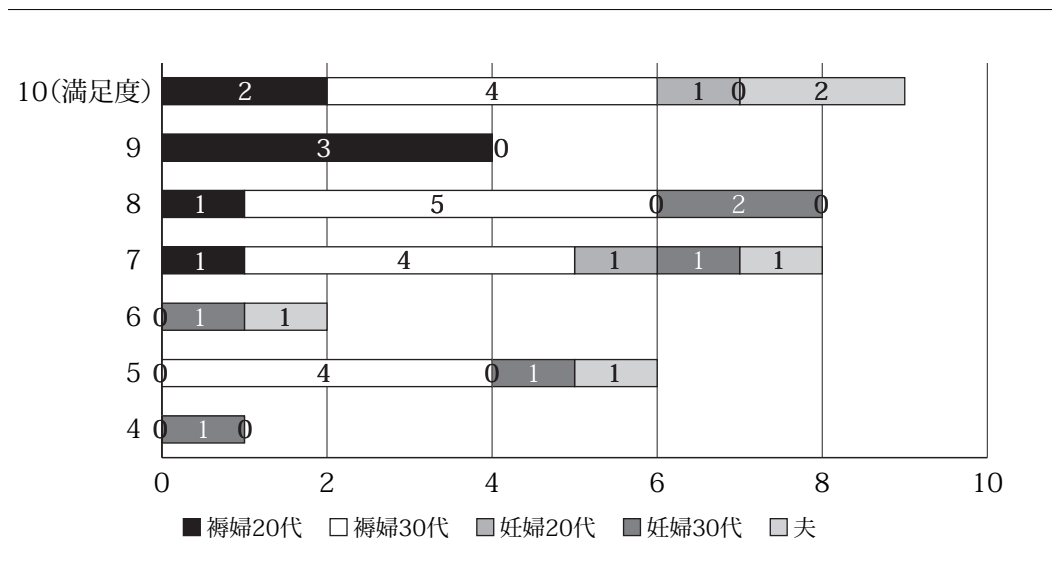


図 1 分娩室満足度

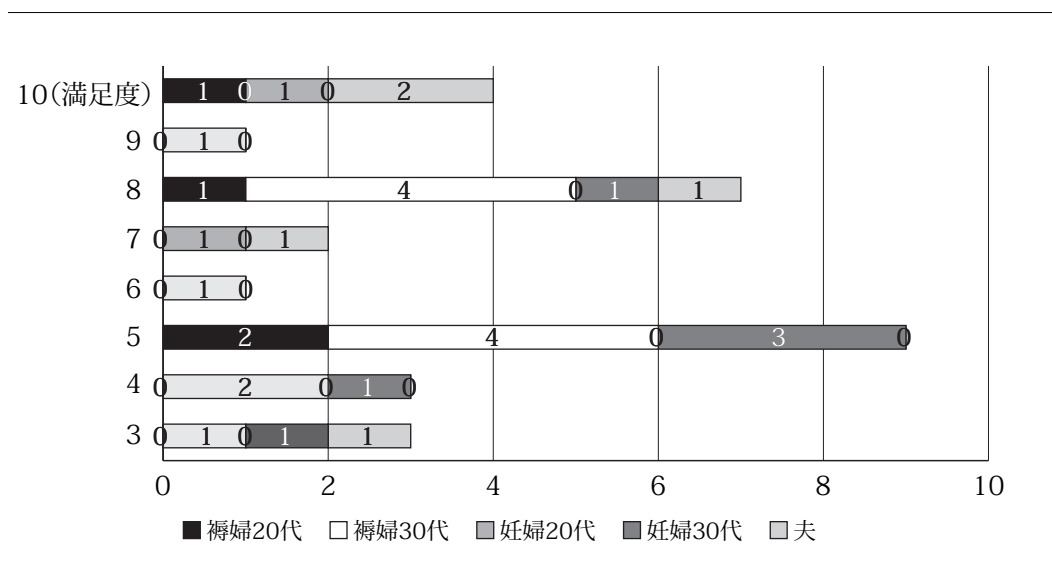


図 2 陣痛室満足度